

私たちの活動や意見を
仲間で共有します
会費は県と日本平和委
員会の活動も支えます

土浦平和の会ニュース

発行：土浦平和の会
事務局：土浦市烏山2-530-
296
ホームページ：//heiwatutiura.
web.fc2.com/

秋晴れの中、信州と平和を満喫 2017平和の旅に27名参加



ちひろファンでぎわっていた。外に出て、穏やかに広がるちひろ公園に立ち、北アルプス連峰を仰ぎ思い切り深

今年の平和の旅は11月7、8日、安曇野ちひろ美術館、松代象山地下壕、無言館、別所温泉山宣の記念碑を訪ねる旅でした。

一行27名を乗せたバスは7時半につくば中央ICから圏央道、関信越道、長野道経由で一路安曇野へ。車中で山宣の予備学習「武器なき戦い」DVDを鑑賞。車窓からは今が盛りの信濃路の紅葉を眺めながら安曇野ICに12時着。昼食は蕎麦を食べ、30分ほどでちひろ美術館に。晴れ渡った秋空のもと、雪を頂いた北アルプスの山々が出迎えてくれる。

「子供たちの幸せと平和」が永遠のテーマだとするちひろの絵はどれも子供の表情がリアルに描かれている。初期の素画、水彩、信州ゆかりの風景画、ちひろの生い立ち、ちひろの全てに触れ、彼女の卓越した才能に感銘。ちひろ館には世界の絵本、絵本の歴史の展示室もある。木のぬくもりを感ずる館内は、平日にも拘らず沢山の

呼吸、平和を感じた一瞬であった。

ちひろ美術館の後は近くのわさび農園へ。長野県はわさび生産量全国1位、その9割が安曇野産、訪れたのは広さ15ヘクタールの大王わさび農園。わさび入りソフトクリームをなめながら、北アルプスからの豊富な湧水が流れる農園内を散策した後宿泊地松代へ。

2日目、午前中は松代で自由行動。松代では、太平洋戦争末期に本土決戦に備えた大本営跡、天皇の移転を目的に多数の朝鮮人労働者らを強制して造られた象山地下壕を見てから真田邸、真田宝物館、武家屋敷、松代城跡などを散策。昼飯もそこそこに、長野山宣会の藤原さんが待つ別所温泉山宣の碑へと向かう。

「人生は短し 科学は長し」とラテン語で刻まれた山宣記念碑前で山宣を偲び、旧役場一室では藤原さんは、想像を絶する官憲の弾圧・妨害にも屈せず、文字どおり命を賭してファシズムと闘った山

**今年も朝日新聞に
意見広告出します**

**9条改憲NO!
東海第2原発廃炉**

**1口1000円の
賛同金募集中です**

宣や現地の農民、青年たち、治安維持法の狙い、当時の歴史的背景を交え熱っぽく語ってくれた。山宣たちの闘い、その功績、偉大さを深く学ぶことが出来た。二度と不気味な時代に後戻りさせないのが今に生きる我々の役目。

別所温泉から10分ほどで無言館に到着、照明を落とし、むき出しのコンクリートに掲げられた絵画は、無限の可能性を秘めながら志半ばで戦没した若き画学生達の作品。絵は無言だが何かを語りかけている。画き続けたい、帰ったら続きを完成させたい…叶えられなかった彼らの無念さ、生きてと願った親、兄弟、恋人、妻子を思うと、こみあげてくるものがある。

秋の日暮れは早い、バスは午後4時に無言館出発、車中で信州ゆかりの叙情歌を聴きながら帰途に。無事8時に到着。 (近藤)

*写真ご提供は長坂さんです。